

みとよ社協だより

しちふく

~七つの福の結晶~

No. 46

2017年
10月



夏休みボランティア体験(白寿の杜)



夏休みボランティア体験(みとよ荘)

ひと夏の思い出

主な内容

- | | |
|---------------|-------|
| • 夏休みボランティア体験 | 2P～3P |
| • 七福通信 | 4P～6P |
| • みとよきらっと☆くらぶ | 7P |
| • 赤い羽根共同募金 | 8P |



この広報紙は共同募金助成金により発行しています。

ア体験

ビス体験

方が明るく接してくれ、よい体験ができた。一人ひとりに合わせた介護の仕方があり、食事も工夫されていて驚いた。施設職員が手際よく着替えをさせていたのは驚いたし、入浴後の気持ち良さそうな姿を見ることができた。大変と聞いていたが、想像以上だった。

をしたり、介助したり、積極的に行動でき、受け答えもしっかりとできていました。最初は声も小さかったです、が、だんだん元気によく声も出していました。利用者様との会話も弾み、絶えず笑顔で対応できており、良かっただと思います。

この事業は、ボランティア体験を通じて、様々な人々との出会いや、社会福祉ならびに福祉の仕事に対する「理解と関心を持つつきかけづくり」として、施設や団体等の協力を得て開催しています。

また、皆様にご協力いただいた共同募金が助成されています。

体験募集をしたところ、当初66名の定員に169名もの申込みをいただきました。受入施設等には特別ご配慮いただき、111名まで定員を増やしてくださいました。

猛暑の中、長距離を自転車で通う姿もあり、ボランティア活動に関心のある高校生や中学生が、しっかりとした「志」を持って参加していました。

皆様のご理解とご協力に感謝し、謹んで御礼申しあげます。

～ありがとうございました！～



★ 生徒からの感想

★ 施設等からの感想

それぞれの様子やコメントを掲載しています。

ボランティア体験

ことだけではなく、まわりをきちんと見て行動できるようにしたいと思う。



★社協のこの活動への取り組みがしっかりしている。きちんとした方針をもっていることはすばらしい。前向きな子が多くかった。

静音中…(運営手のことを考えながら発声します)

Cコース みとよ荘体験



見まつりの
一コマ



★ボランティアを通じて、介護の仕事にとても興味を持ちました。色々な方がいるけど、一生懸命に生きているのがわかりました。働いている方は障がい者の気持ちに沿って、一人ひとりの個性や特徴を、きちんと把握していくすごいと思いました。私も利用者の方に負けずに、元気に過ごしていきたいと思いました。

★将来、福祉方面に進む予定の学生の方は、考えもしっかりと進んで行動できていたように思います。ボランティア体験が初めての方は、少し表情もかたく利用者様と話すこともできませんでしたが、職員が間に入ることで少しずつコミュニケーションをとることができていました。施設側も受け入れをして学生の方とふれあうことができ、職員側もよい刺激になりました。

今後も、福祉の仕事やボランティアについて関心を持ち、障害者施設について少しでも理解ができ、また将来の希望をもつていただけるよう、受け入れを続けていきたいと思っています。



2017夏休みボランティ

Aコース ヘルパーさん体験



こんにちは♪(素敵の笑顔ですね)

★各家庭ではやり方が違っているので、ヘルパーさんは各家庭に合わせないといけないことが分かりました。高齢者の家だけに行くのかと思っていたけど若い障がい者の家にも行くことを初めて知りました。自分の家でいたい人のためにヘルパーさんは必要です。私も将来介護や看護の仕事をしたいと思っていたので良い体験になりました。

★知らないところへ訪問する不安や緊張もあったと思いますが利用者さんに優しく声かけしてください、利用者さんはとても嬉しそうでした。
あまり興味のない生徒さんの参加があったことは少し残念と感じました。

Dコース 放課後児童クラブ体験



員皆さん優しく、本当に左も右もわからなかった自分たちに丁寧に教えてくださいって助かりました。

★総合的に見てとても良かったと思います。子どもたちに接する態度、一日の流れの把握も早く、とてもスムーズに進行できたと思います。子どもたちが中高生と友だちのように関わりながら先輩として尊敬すること、また生徒の皆さんが、小学生の前でどのような態度、姿勢でいればよいかと、心掛けることも大切です。それが今回はどちらもうまくいったのではないでしょうか? 小学生だったころと重ね合わせ、その頃からの自分の成長を振り返る機会になり、またこれからの自分の人生について考える機会になってくれればと思います。

高い所の掃除は
あき力せください



Bコース デイサー



★大変な仕事だけど、やりがいのある仕事だと思った。入所者の



結構むずかしい…

Eコース 音声記

★前までは喋っていても相手に伝わらないことが多かったけれど、今回の体験学習を通して相手に伝わりやすく話せる練習ができた。これから的生活で視覚以外の感覚に興味をもってみようと思った。「もっと人の役に立ちたい」という思いが前よりいっそう強くなったので、大人になっていく中で、自分の



通信



みんなであそぼー
夏まつり

7月29日 高瀬

みんなでハッスル! 長寿会グラウンド・ゴルフ大会



【優勝】
大西英樹様
おめでとう
ございます!



心配した雨も上がり、快晴の下、岳寿会グラウンド・ゴルフ大会が開催されました。曰「スから練習

を重ね、この日を楽しみにされていました。参加者が熱戦を繰り広げました。

ホールインワンが出たたびにあちこちで歓声があがり、楽しい一日となりました。

来年もまた盛り上がりましょう!



6月22日 山本

自分の身体で感じてみよう

6月13日 三野

下高瀬小学校6年生を対象に福祉体験学習として「高齢者疑似体験」と「車いす体験」を行いました。それ 자체についての説明後、疑似体験ではお互いに助け合いながら順番に装着します。視力や聴力をはじめ身体に制限がかかる状態だとどうなるのか。また、車いす体験では介助する側される側の心理はどうなのか。乗って移動してみながら探っていきます。

このように身体が不自由になることを体験することで、自分で学び、考え、そして一人ひとり違うことを理解する。そこで、「高齢者や障がい者への接し方など考えるきっかけとなります。

七

福

心強い、地域の 「認知症サボーラー」

6月14日 豊中

民生委員・児童委員協議会の研修会にて、「認知症サポート」(黄成講座)ならびに「社協の事業説明」を行いました。

身近な存在である民生委員

児童委員さんが、認知症についての理解を深め、認知症サボーターとして地域の方のちょっととした変化や、困りごとに早期に気づき、見守り、必要な時には関係機関につなぐことで、認知症になつても安心して住み慣れた地域で生活できる方が増えたくと願っています。



男性料理講習会

6月5日 調間

詫間町老人クラブ連合会女性委員会は詫間町福祉センターにおいて「健康新生活」のために自分で料理を作つてみよう!と男性料理講習会を開催しました。

毎日の食事で大栄養素をバランス良く摂ることが大切です。それぞれの栄養素が互いに影響しあつて働くので、偏つた食事をすると効率も悪く無駄になってしまいます。ごはんやパンのほかに10種類の食材を食べるこ

とを目標に!とはいっても、その実際はなかなか難しいものです。



継続は力なり!

7月9日 仁尾

海開き前に老人クラブ連合会が、父母海岸、古江海岸、賀茂川付近の3か所で海岸清掃を行いました。早朝から晴れの海をきれいにするための環境活動に汗を流しました。

この海岸清掃活動は54年間継続されており、その功績が讃えられ、この度「海の日」海事関係功労者(国土交通大臣表彰)海をきれいにするための一級功労者部門を受けました。



7月21日 財田



財田町の行事に時折現れる「コスモスサイターズ」。財田町の有志で結成されている音楽バンドです。今回もこすもす広場のミニコンサートで演奏をしました。ギター、ベース、ボーカル、オカリナ、トーンチャイムそしてハンドベル。僕メロや唱歌などお客さんの年代に合わせ選曲もいろいろ。練習中、「昔の夢をこんな風に覚えてみたい」とアレンジにも積極的に挑戦しています。合奏の楽しさと心地よい緊張感。次回のステージがまた楽しみです。



かがやきクラブ三豊

~上半期 三豊市老人クラブ連合会 主要行事の紹介~

5/10 市老連総会
(184名参加・詫間町福祉センター)

6/30 第5回グラウンド・ゴルフ大会

7/14 第2回女性委員会主催研修会

8/5 第3回芸能発表会

4/28 第1回女性委員会主催研修会

5/28 歯と口の健康フェスタに参加

6/1 第3回ペタンク大会

スポーツ行事や芸能発表等、会員以外の方にもご参加いただき各行事とも盛会のうちに終了しました。これからも市老連行事を楽しく気軽に参加できるように開催いたします。ぜひご参加ください。

『みとよきらっと☆くらぶ2017』

★今年も元気いっぱい★

『みとよきらっと☆くらぶ』は、夏休み期間中、障がいを持つ子どもの遊び場・交流の場として、一時的にお子さんをお預かりするサービスです。

今年度は台風5号の影響で1日中止となりましたが、7月下旬から8月上旬までの9日間、7歳から17歳までの子どもたち延べ73名が参加しました。地域のボランティアや学生ボランティアの協力もあり、無事に終了しました。

子どもたちの笑顔や歓声があふれ、夏休みの楽しい思い出ができました。



来年も参加したい

保護者の声

- 希望日に参加できて助かりました。子どもも毎年楽しみにしています。
- 毎日楽しく行っていました。新しいプールが特に良かったようです。
- 夏休みのきらっと☆くらぶを楽しみに待っていました。スタッフやボランティアの方に温かく見守られ、とても良い思い出ができたようです。
- いろいろな遊びができるようになっていて、本人も家族も喜んでおります。
- クッキングやプールでの水遊びだけでなく、友だちやボランティアの方とのふれあいもあり、過ごしやすいようです。

また会いたい

ボランティアさんの声

- ★貴重な体験ができた。
- ★ボランティア参加ができるだけ続けたい。毎年参加したい。
- ★いろいろな方々に声をかけてもらったり、関わるを持てもらえたり、友だちとの交流もできて、本人にとっても良かったと思う。
- ★ご家族のためにも、少しでもお役に立ちたいと思った。
- ★きらっと☆くらぶの名の通り、個性いっぱいの純粋な心を持った子どもたちに出会えた。
- ★子どもたちの笑顔を見ていると、心がホッとして癒された。
- ★子どもたちの1日、1年の成長から学ぶことがたくさんあった。

赤い羽根共同募金



70th
赤い羽根として70周年

毎年、皆さまから温かいご寄付をいただき、ありがとうございます。

今年も赤い羽根共同募金運動が10月1日からはじまりました。お寄せいただきました寄付金は香川県共同募金会を通じて、県内の民間福祉施設や、じぶんの町(三豊市)の地域福祉事業に助成されます。皆さまの温かいご支援、ご協力をよろしくお願いします。

平成29年度

募金目標額: **23,460,000円**

(平成30年度事業計画として)

・広域助成事業、災害活動等支援

4,819,000円

・地区社協等が行う地域福祉活動

30事業 2,530,000円

・福祉団体、ボランティア団体等が行う

地域福祉活動

71事業 4,495,000円

・三豊市社会福祉協議会が行う

各種地域福祉活動

8事業 11,616,000円



▲平成29年度
うどん県バッジ



赤い羽根共同募金

70th

平成28年度事業助成 ありがとうメッセージ

高瀬「麻地区社会福祉協議会」

元気会の行事では、高齢者でひとり暮らしの方や、とかく家にひきこもりがちな方々の交流の機会をつくり、明るく楽しい生活が送れるように、高齢者の居場所づくりに一役かっています。また料理づくりを通して、お互いに助け合い、談笑しながら高齢者同士の交流の機会をつくり、絆づくり、居場所づくりに大いに意義がありました。この様な催しを実施したあとは、皆さん非常に明るく楽しそうな表情をみせてくれました。



みとよ健康福祉まつり'17



「地域で支え 心をつなぐ 豊かな“みとよ”」

とき 平成29年10月14日(土) 9:30~13:00

ところ 三豊市総合体育館 及び 周辺

*屋外ブースについては雨天の場合は全て中止となります。



屋外ふれあいステージ 9:45~

まちづくり推進課高瀬&高瀬ハイスクール ラジオ体操・ダンス

どれみの会 きら☆リズム 踊り・手話

三豊市地域包括支援センター みとよ元気体操

三野保育所 鼓笛・踊り

財田幼稚園 鼓隊演奏

音楽あそびの会 リズムくらぶ にこにこ 手話・ダンス

わんぱくキッズ体操クラブ ダンス

西讃地区食育推進ネットワーク会議 食育ウルトラクイズ

屋内イベント

・健康イベント、子育て支援
や体験等

・ファミリー写真コンテスト

・出張登録会
(ファミサポーブース)



H28 写真コンテスト最優秀賞

屋外イベント(テント出展)

(養護学校・福祉団体・施設・ボランティア団体等出展)

飲食販売

うどん・ちらし寿司・コーヒー・加工品・焼き菓子・
ポップコーン・シフォンケーキ・フランクフルト・海産物・
ドーナツ・焼きそば・アイスクリーム等

手作り作品等販売

花苗・小物・作業学習品・バザー等

各種体験

竹バッソ・シュロの
葉でバッタ作り等

その他

介護用品展示及び
相談、パネル展示、
スーパー・ボールすべり、
ヨーヨーフック、
くじ引き等



「ふわふわタイガージム」は大人気!

三豊警察署…白バイ・パトカー展示

北消防署…ミニ消防車展示・乗車体験

香川県警察…シートベルトコンピングサー体験

第12回三豊市社会福祉大会

とき 平成29年11月25日(土)

開会 9:30(受付 9:00)

ところ みとよ未来創造館(旧高瀬町農村改善センター)

対象者 地域福祉活動に興味のある方、どなたでも参加可能

参加料 無料(お気軽にお越し下さい)

内容 ○表彰式典 9:30~

・社会福祉の表彰

・福祉作文発表

○記念講演 10:50~

・講師 弁護士 住 田 裕 子 氏

《要約筆記・手話通訳あり》



福祉まつり及び社会福祉大会は共同募金助成金により開催します。





大見は何か
一あの人気が
いない」と
気が付くこ
とができる。
帳簿の上だ
けとは違う
現状を、どう

「私は遙かでござるんな」といふ。物語は聞かれてゐるが、そういう不安を抱いてゐるためにもう閑話を棄き、一人でも多くの方に講義に参加して貰いたい。つ随して。」
年間をとおしてさまざまな事業を行つて、ついでには樂園をつくり、ついでには園芸場がある。それに行けば好いなれど、言えるモノを言ふる場所がある。だから人が来るまるで、最後は定期の回復薬水タマキシカヒルハコト」には、「今後この取材料をおいて、仲間」と繋いで、ながりを大切にしながら活動される源をみるとことができました。完かどしきやんとも並地では親しまれ、まさしく「一チアセンスモ」。キラリでした。

「今回のボランティア」



大見地区社協 会長
大見地区防災 副会長
竹内 完士さん

- | | |
|--------|---------------------|
| ★ いつから | 平成11年4月 |
| ★ どこで | 大地公民館（豊中町上高野） |
| ★ いつ | 毎月第3水曜（変更あり） |
| ★ だれが | 上高野長寿会
しののめクラブ会員 |



サロンへようこそ

(豊中町上高野) サロンしののめ

サロンへののめは、年間を通して、病院や市、県消費生活センター等から講師を招き、「健康教室」や「詐欺被害防止」の講座を開催し、健闘や安心・安全への意識を高めています。9月の敬老の会では、自己会員内の80歳以上の方に手作りお寿司とティッシュを配り、1月にはうどん打ちを行います。また、会場周辺の除草作業も行っています。

そして、サロンの楽しみの一つになっているのが、ボランティアの方々（地区タンボボの会、長寿会役員など）が作ってくれるお食事です。参加者やボランティアさんが持ち寄った旬の手作り野菜等を使ったお食事が手際よく並び、「これほどよんして作つたんだな?」「おいしいな」との声がとびかいります。

サロンへののめは、上高野長寿会（老人クラブ）の単位クラブの一つです。自守から抜いて行けるサロンであり、活動の拠点として、大変重要な地位にあります。

サロンのためには、年間を通して、病院や市、県消費生活センター等から講師を招き、「健康教室」や「詐欺被害防止」の講座を開催し、健康や安心、安全への意識を高めています。9月の敬老の会では、自治会内の80歳以上の方に手作りお寿司とティッシュを取り、1月にはうどん打ちを行います。また、会場周辺の除草作業も行っています。

善意の寄付

平成29年6月～8月受付分（概算額）

高潮町

秋山 博則
大井 清道
(故)山下 好治

豊中町

齊藤 広
西川 和夫
大西 梅太
中矢 彰視

三野町

瀬尾 健介
磯崎 尚武
大井 千明

団体

詫問町 西川県建設労働組合三農支部

三農市社会福祉協議会では、皆さまからのお寄せのご寄付を、地域福祉・在宅福祉の推進などに有効活用させていただいております。本誌をもって改めて厚くお礼申し上げます。

寄付にて協力おねがいします

社団の財源の一つが、皆さまから寄せられる会費や寄付金です。こうした財源は地域福祉事業を行う上で大きな支えとなっています。

金額の多少を問わず、年間を通して本所・各支所で受け付けています。どうぞ温かいお気持ちをお寄せください。なお、社団への寄付は寄付金控除の対象となります。

詫問中学校の

「アルミ缶を集めて車椅子を贈ろう！」について

詫問中学校の近くを通るたびに思い出すことは、正門のところに柵を設置して行っている「アルミ缶収集」である。

今こそ多くの小中学校が取り組んでいるが、全校的な取り組みを行っている学校は、当時おそらく県下でも詫問中学校が唯一ではなかったか。それが30年間も継続し、①詫問中学校の伝統の一つになっていること、②車椅子を贈る活動を通して高齢社会について考え貢献していることは本当に素晴らしい。

この活動は、当時の生徒から「アルミ缶を集めているのですが、引き取ってくれる業者を探りませんか」という相談から始まった。ラジオで、中学生がアルミ缶を集め換金し、車椅子を贈っているという活動を知り、自分もやってみようと思ったらしい。たくさんの方々の協力のもと、見つかった業者で換金した額は1

万円少々。車椅子購入には2～3万円不足していた。

そこで、生徒の想いに応えるため、募金活動を行なうこととした。結果、PTA関係者、地域の方から賛同いただき、何とか1台分相応の額が集められ、社会福祉協議会を通じて、志願の車椅子を町内の福祉施設に寄贈することができた。

その後、1台の車椅子で終わらせるのではなく、生徒が主体となって学校全体で活動していく方向へと発展していった。個人のアルミ缶収集から学校全体、そして地域を巻き込んだ活動へと徐々に広がっていき、今日に至っている。

この活動が始まって、今年で30年の節目になる。この間に寄贈された車椅子の総数は80台近くにもなると聞いた。これもたくさんの方々の、長年に渡る協力のお蔭である。

この活動が、発案した生徒の想いとともに将来に渡って継続することを願っている。

（当時の先生からの手記）

平成29年度第2回まかせて会員養成講座を

11月9日(木)・10日(金)・13日(月)・14日(火)の4日間で開催します！

11/9(木) 8:45～15:30

※開会

- ①子育てをめぐる状況とファミリーサポート事業の説明
- ②発達障がいへの理解と家族の支援
- ③子どもの栄養と食生活



※子育てや孫育てに役立つ内容です。スキルアップのためや

興味のある講座を1講座からでもお申込みいただけます。

11/10(金) 8:50～16:40

- ④子どもとのかかわり 乳幼児との遊び
- ⑤子どもの虐待と 子育て支援者の役割
- ⑥子どもの安全 ~心肺蘇生法・AEDの使い方~
- ⑦保育の心



11/13(月) 9:00～16:10

- ⑧小児看護の基礎看護
- ⑨子どもの発育と病気
- ⑩子どもとのかかわり 児童との遊び
- ⑪子どもの世話(オムツ替え方等)・三農市の母子保健事業

11/14(火) 8:50～16:30

- ⑫子どもの発達とその課題 (心の発達と子どもの性別)
- ⑬保護者とのコミュニケーション
- ⑭子どもの安全 ~家庭内事故・応急処置~
- ⑮「まかせて会員」について 事例発表

※閉会



申し込み・問い合わせ みとよファミリーサポートセンター 0875-62-1192まで



